学校番号	320

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	（学）英語実践演習	1	3	・入試複合型問題集 PATHFINDER 発展編 ・Next Stage 英文法・語法問題

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語実践演習は、大学の入試問題（会話問題・文章問題）を実際に解き、自ら習得した文法・語法の知識をどのように生かして、論理的に文意や文構造を読み取ることができるか、という英語の力を複合的に駆使する力を鍛えます。
・入試頻出の英文法や語法を習得することは、どの大学の入試英語を受験するにおいても不可欠です。いくら長文や会話問題を解くスキルを身に着けていたとしても、肝心な単語の意味や英語表現を理解していないと、解くことはできません。毎日 10 分でもいいので Bright Stage を読み返し、長期記憶しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・120wpm 以上の速さで、発音、リズム、イントネーション、音声変化などを正確に聞き取りながら、まとまりのある日常生活での情報や説明をほぼ正確に理解することができる。	・まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・身近なトピックについて、簡単な英語を幅広く使って説明したり、自分の意見を伝えることができる。	・自分の関心事であれば、社会の状況について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表することができる。	・興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Ex01/02 会話 Ex05/06 文章 Next Stage 第 20/21 章	聞くこと	a: 聞き取りにくい音の構造を知ることでリスニング能力を向上させる b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （発表）	a: 英語の動詞・形容詞を正確に活用する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: 他の生徒の発表を参考にして自分の発表の精度を上げるよう努める	プレゼンテーション
		読むこと	a: 英語の動詞・形容詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 英語の動詞・形容詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・文法問題）
	中間考査			
	Fu01/02 会話 Fu05/06 文章 Next Stage 第 22/23 章	聞くこと	a: 聞き取った音と英文の意味を照合して意味のある英文を聞き取れるようにする b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （やり取り）	a: 英語の副詞・名詞を正確に活用する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通して協力して学習に取り組むよう努める	スピーキングテスト
		読むこと	a: 英語の副詞・名詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 英語の副詞・名詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・文法問題）

	期末考査			
2	Ex03/04 会話 Ex07/08 文章 Next Stage 第 11-15 章	聞くこと	a: 音のつながりに関する知識をもとにリスニング能力を向上させる b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （発表）	a: 適切な代名詞・接続詞・前置詞を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: 他の生徒の発表を参考にして自分の発表の精度を上げるよう努める	プレゼンテーション
		読むこと	a: 適切な代名詞・接続詞・前置詞を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 適切な代名詞・接続詞・前置詞を用いることができる。 b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・文法問題）
	中間考査			
	Ex09/10 会話 Fu09/10 文章 Next Stage 第 16-19 章	聞くこと	a: 音のつながりに関する知識をもとにリスニング能力を向上させる b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （やり取り）	a: 適切な語法を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通して協力して学習に取り組むよう努める	スピーキング テスト
		読むこと	a: 適切な語法を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 適切な語法を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・文法問題）
	期末考査			
3	Fu03/04 会話 Fu07/08 文章 Next Stage 第 20/21 章	聞くこと	a: 英語を聞きながらメモを上手にとる方法を見つけてリスニング能力を向上させる b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	定期考査 （リスニング）
		話すこと （やり取り）	a: 適切な動詞・形容詞を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な会話のための表現を考える c: ペアワークを通して協力して学習に取り組むよう努める	スピーキング テスト
		読むこと	a: 適切な動詞・形容詞を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査 （リーディング）
		書くこと	a: 適切な動詞・形容詞を用いることができる b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査 （ライティング・文法問題）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度